



京城日報

本報は、京城の新聞として、毎日出版される。内容は、京城の政治、経済、社会、文化、スポーツなどに関する記事が中心である。また、国内外のニュースも取り上げられている。

選挙

本日の選挙は、京城の各選挙区で行われた。投票率は、概ね80%程度と見られる。結果は、各選挙区で異なるが、大體、保守系が優勢である。今後の政治動向に注目が集まっている。

屋敷の怪

某屋敷に怪現象が頻りに発生している。夜になると、部屋が暗闇に包まれ、奇妙な音が聞こえる。住民たちは、大に驚き、退避している。警察も調査しているが、原因は不明である。

美人草

某地方で、美しい花が咲いた。その花は、人々に愛され、美人草と呼ばれている。その花の咲く場所は、昔から伝説に包まれており、多くの人々が訪れている。

布地生

某地方で、布地が生きているという噂が流れている。その布地は、人々の生活に大きな影響を与えている。多くの人々が、その布地を手に取り、愛用している。

朝鮮の政治

朝鮮の政治情勢は、依然として緊張している。日本と朝鮮との関係は、悪化の一途を辿っている。今後の動向に注目が集まっている。

文藝俱樂部

本俱樂部は、文藝愛好者の集まる場所。定期的に公演や講座が行われる。内容は、小説、詩、演劇などに関するものが多い。

張子の虎	張子の虎
張子の虎	張子の虎
張子の虎	張子の虎

朝鮮彙報

朝鮮の最新ニュース、政治、経済、社会に関する記事が満載。読者のために、わかりやすくまとめている。

朝鮮の政治	朝鮮の政治
朝鮮の政治	朝鮮の政治
朝鮮の政治	朝鮮の政治

朝鮮銀行 十九日締切

本銀行は、十九日締切の業務を終了した。今後の業務に努める。また、新株募集の案内も掲載されている。

日本少年

少年向けの雑誌。内容は、冒険、探検、科学などに関するものが多い。読者の心を魅了する。

少女の友

少女向けの雑誌。内容は、恋愛、友情、夢などに関するものが多い。読者の心を魅了する。

書畫骨董叢書

大正の聖代が後世に寄与し得べき最大の收穫!! 絶對的大結集!!

本書は、大正時代の書畫骨董に関する資料を集めたものである。内容は、書畫の技法、骨董の鑑定などに関するものが多い。読者のために、わかりやすくまとめている。

書畫の技法	書畫の技法
骨董の鑑定	骨董の鑑定
書畫の技法	書畫の技法

帝政下の柏林

太公會議召集

柏林よりの報に依れば十三日夜帝政布告せられたり保守派は何等流血を見ずして柏林を占領し帝政を恢復せり

解散大官任命

其筋電に巴里來電によれば柏林に於ては十三日王黨に屬するゼンラフ・ウ・カッス(東普魯西軍事統率の下にウ・ムリツ・ラフ・ユートラセ・エノを占領しカ・ツツを總監せり新政府は議會の解散を命じゼンラフ・ラフ・ユート・ブイ・ツツを總司令官に任命せり

新政府宰相任命

林新政府宰相に任命されたり

政府大統領

ヒンデンブルグ元帥が

獨條約履行發表

獨逸政府は獨逸條約履行を發表せり

山東問題暗澹

獨逸政府は山東問題の解決に努力を盡す

過激施設に努力

一學者見聞中の一節

哈爾濱實業光景

社會黨員盛んに活動

政權授受要求

平和方法で講ずる

東鐵沿線大罷業

原因はホ將軍に政權交付希望

滿洲里運轉中止

東鐵沿線大罷業の故

長哈間電信不通

長春表面平穩

耐寒行軍隊歡迎

無事壯舉を果す

物價調節前途

某閣僚談

定期界大動搖

株式界續落

株式界續落

大輸入超過

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

誠意を欠く遺憾

貴族院議員 江木千之氏談

期米底抜け

金肥生産増加

金肥生産増加

實業銀行許可

實業銀行許可

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落

株式界續落


株式界續落

株式界續落

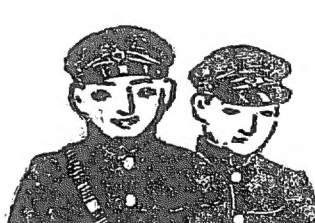
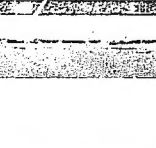
株式界續落

株式界續落

株式界續落



100



改^カ造^{ゾウ}すべ^ベき^キ買^カい

- ㊦ 腹氣又は嘔吐を催す……………
- ㊧ 胸灼け、痛みを感ず……………
- ㊨ 食慾減じ食物の美味なし……………
- ㊩ 頭痛眩暈を覺ゆ……………
- ㊪ 顔ふぐれ意識不明瞭……………
- ㊫ 酸味ある嘔吐を覺ゆ……………
- ㊬ 舌が白く變色す……………

- ㊭ 腹部に膨滿を覺へ便秘を起す……………
- ㊮ 感覺鈍りて頭腦鬱々とする……………
- ㊯ 下腹に痛みを感じ腹鳴を起す……………
- ㊰ 舌の下面部黃色くなる……………
- ㊱ 腹に壓迫を覺へ呼吸困難となる……………
- ㊲ 顔色蒼白くなる……………
- ㊳ 屢々放屁を爲す……………

改造の第一歩!!

以上の如き場合に於ては直ちにホシ胃腸薬を用ひて改造に着手せよ。ホシ胃腸薬は世上あり振れたる胃散類に非ず、實に我が星製薬株式會社工場に於て本邦知名の専門の博士學士が充分なる學術的研究の下に責任と名譽を重んじて親しく自ら製出されたるものなれば實に本邦胃腸薬中の最高權威として絕對信頼するに足る可く其の効果の的確にして顯著なるは悉ねく實驗者の歎稱止まざるに依つて知る可し。



廿	五十	壹
兩	錢	圓

資本金壹千萬圓

星製藥株式會社



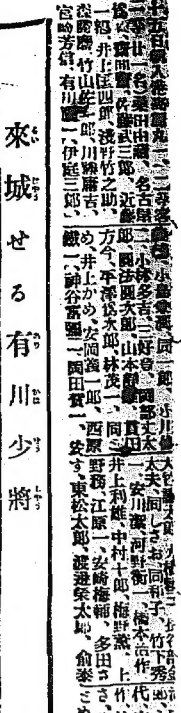
 胃病良藥

ホシ

胃腸

藥

胃病良藥



北川中尉の聲妙技を發揮し
歡呼の聲汝島に溢る

前夜來立ち迷ひたる雨雲は何地に流れたりけむ、
明くれば十六日藍碧の空拭ふが如く晴れ渡り天心
より地平線まで一點の雲翳だに認めず、まことに
絶好の飛行日和なり、京城日報婦人見學團七百名
の隊体を先登に各學校生徒午前十時より衣香傘影
陸續として鶯梁はより汝矣島にうちつゝき今日こ
そ晴れの豫行飛行を見むものと集り来るもの引き
も切らず午前十一時にはさしちに廣き著陸場の周
圍も忽ち見物の群集を以て人山を築くに至れり



尋しく機を閱
試驗飛行の樂で歸還後
所を視てすべく午前八

縁將校は何れも年少は錢の十試
 飛騨行を行ひたる後餘給あれば
 敗島の詳裏に讀足を與へむもの
 なり、格納庫より出され

先づ離陸す

[illegible]

京城の上空を快翔して
難波中尉著陸す

威風凛々たる御恩はしからざるよし
 五百の高度で以て時の上空を
 飛翔せしめたる三十分、六分、九分、
 の四時數大抵千三百六十の十
 より回轉せざれば残念な
 から著陸せり。笑ひつゝ
 語更に續對面試飛行を試
 みる。京城の上空
 を飛翔し來れる難波
 中尉は午前十時五十分
 告したる後、中尉は語り得く
 『京城は山に圍まれ居るし
 海江云ふ大きな河があるので
 飛べばさう容易いと思ひ
 能し千以上に登るの機も安定
 して至く好む心持です。此處廣
 敷の所を飛び『少し風はあち
 が好むので早に相済す。今午
 前二時半離れ機を飛ばしますと』と
 告げたり

北川中尉の妙技
を狂喜せしむ

千七百五十六號を撰註し湧離陸し櫻宮を西南に向へて登る

春光あけ
汝矣島
豫備
七百

一日の團員醉へるが如く
一日の歡興を擅にした

本社主催婦人見學團

前夜の細雨は、ツラミ晴れて十六日は春空一時試かき麗かな飛び口日和。汝等爲の空には雲雀が啼いて地に鳴響く趣がある。本社主催第七回婦人の間は、昨日午前九時半より特設の間にて康中書業社諸前に集合した人数内解散交々。

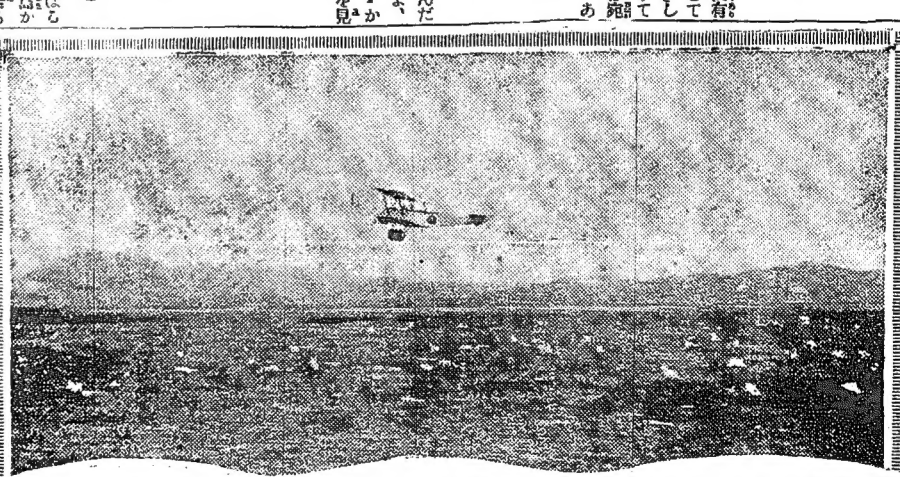
約七百人 毎回の見學團に觀摩來る人が少くなつたが今日の翌は盛んなにかれた。今日の翌は盛んなにかれた。今日深澤の夫人も僕も多く鑑賞し四女には男よまた一人の人が

島には昨は言花爛漫な来たがやうに美しい本誌裏表紙の一際を是處の兵士や警官等に送らされて本社が

軍の好意 に依つて時に與へられた屋上の懸架格闘者白地の上に本社旗が翻動す風風に驚きの面々の廣さには、庫から曳出された四脚車飛行機が假りの翼をかまい一日五機の舞臺上には勇ましく飛ぶのが心止一瞬は夢遊家らしい

店を取り各該生徒能の肩押して一體観覧者は櫓の倒るるばかりでなく押し寄せて見た待望もなく賽跑艇の制覇を観へる程としたして壯快なるプロモーションの聲あふりぬけるが聞くる目であれよしと動かめき大が橋は午の東方鐵道橋が難波中尉の操縦する

難波中尉の低空飛行



鮮やかな低空飛行

飛鳥は脚袋の手に汗を擦りし、ソ式三型を今夜中に組み立て
忘はし其妙技を諺ふ英陣、明日から明日からは十分面白い處
處のは機に故陣がある云ふぞ(午後三時也)

大飛行の總指揮官
ありかはせしやうさた

有川少將來る

出迎の記者に語りて曰く
朝鮮にも二箇所位の
飛行場が欲しいといふ

出迎の記者に語りて曰
朝鮮にも一箇所位の
飛子場が次々

[illegible]

定期交通を開始せん

下海關に於て海關稅務司門連總の飛行機並に陸立の準備
あるを機體電し航記地方で定期交通を開始せん
する趣旨にして監査總務處を兩地に電照し又株式
發行の爲め海關の人士が登記したる監査總務處に於て
世界的飛行交通獎勵の目的を以て米國飛行機製造
公司の代表員コマンドロウステアモント氏を監査總
務處に上級の練習飛行機及び本地方旅行
に便する飛行機を二機を有せしむるを決定す
るに於て三月の試験飛行に於て三月の試験飛行に於て三月の試験飛行に於て

に向へる
巡査殺さる

面民四名は、叫駭救の迷信によ
華陽郡、雲林手に到り、暴行を働
けり。人女一名を誘匿したるを以
て、甲立たので一件書類は十
城審判院より高等法院
せられたり云へば近
に附せらるべし

したるに尋強に
査一名即死し聲
召ひたるを以て
仁川入港中の
十七日浦に向

犯人一名を銃殺し二
後二時築港を出て同夜目
に暇泊十七日午前七時

大會公開
昨年全鮮各地で

状況を撮影せしめて之を寫眞采儀（このレタレン）は昨年十二月十

香港、廣東、澳門間連絡の飛行交通會社設立
東飛行會社の施設として澳門附近のアレ
シ前記地方に定期交通を開始

此の趣旨にして假設格精軍を獨地に建設し、
 彙集に善し、澳門知名の人士之が發起人たり、優厚賞給
 世界の飛行交通獎勵の目的を以て
 俱樂部派遣員コマンドロウスデバアモント氏を發給

等法院に
件書類を

[illegible]

七日鎮南
に向と

後二時築港を出て同夜月尾島に宿泊十七日午前七時拔錨

た男の公判
生れ、忠北藩

儀(二)は昨年十二月土地供

開始せ

格納庫を同地に建設し、又此
が發起人たり、附近當地に松
の目的を以て、米國
デバアモント氏來露の際、

一一五

A high-contrast, black and white photograph of a woman in profile, facing left. She is wearing a dark, patterned garment with a decorative, light-colored border along the neckline. The background is dark and textured, possibly a wall or a large piece of fabric.

電話 振替 卸上 京城若草

北滿野一手販賣
町四〇
月商店
一〇三五
城五三三二

詩壇

夏ノ門を
平生松平、寛
苦むした瓦、淋しい陽ざし
岩連華を吹く青い風！
春——東大門は春になつた

包蔵者よー
我は悲し

火を囁く低め
虫さ蟬らんだため
春草の野邊に幸れり
一言せん自餘と——我々如何
て此處に臨ひしや、期待に背
だ枯草の野邊にして、もろと
散する土と水と空氣ある
にして、我の間はむさした天

大正九年二月二十四日
 先番 向井 一男 (初段)
 後番 長谷川 章 (初段)
 敗退棋局
 (第一回の七)

九九 九二 九三 九五 九六 九七 九八 九九

ち四 り五 り四 め五 め五 め四 め三 め三

栗の家(童謡)

りすの恋れた栗の實二
蝶の夫婦が墓を造り
甘い御家と名をつけて
小さい菓子屋を店開き
三年たつたある夕へ

りん病根治の發明

勿迷 どうしても薬では根治せぬ
なぜ薬で治らぬか

膿血がたまり尿道に入れば、
膀胱に炎症を生じ、
細菌を吸収し、無数の小孔内の損傷を癒す。悉く吸収して癒す。

わきが

今が一番よく
 化学的療法無代進星
 諸軍一等重醫首尾博士先
 女わきが病にてお困りの

用之

じまより
 流經新劑
 必す御安
 四十持安
 錢五圓
 説明書
 御用由

にて御心
 最も進歩
 せる方

東京本
 月町二
 二

振替東京
 四七六

東京堂藥

[illegible]

東京で流行る
金春化粧

に盛んに愛用されてゐる

品質香も量も共に頗るよい

天性の全く同じ色の白さにつきー上品な艶を出す

木力白粉

今年流行出した金春化粧
カーミに白粉を混じしてお化粧をするので其仕方は、**襟の白粉は顎の處までお顔は鼻を中心として頬をはかす**

▲他の白粉と異なり其白には潤あり
▲光沢ツツキ共にお顔をうるませ
▲黒く塗りつぶす事なく
▲純然鉛無毒にして絶對に髪色せせず

品に艶爛になりますので近頃非常に流行出して
きましたが此金春化粧を施すには他の白粉で
は駄目**是非共ホーカー白粉**
を使はなければなりませんホーカー白粉
は他の白粉より異なりその際上のお肌に
香りが非常によく染み入るのに驚く人々
でもキツ巧にツギ厚塗りの化粧が自由自在に能
きるのです

▲全国到處の化粧品店
洋品店藥房等にもあり若し物品的に直
接本舖へ御注文を願ひます

東京 神田和泉町
堀越嘉太郎商店
電話 東京三三四四一五

電機電線電球式卸
電話芝大二三七
衛東京四四九一

日本自動車學校

家庭料理に就て

東京割烹女學校校長秋篠益實先生は久しい以前から御研究になり且亦家庭料理を實地教授の際調味を必ず御使用になりますそれで味の素の特長は

- ① 調餡の手續や煮出す手續が時間がいらない
- ② 純白の粉末で容易く湯水に溶け「カス」を残さぬ
- ③ 食物性の味付け「クセ」なく精進料理にも適する
- ④ 少量にて美味を増し滋養分を多大ならしむる

味の素

[illegible]